

平成25年度国立特別支援教育総合研究所セミナー 参加のご案内

インクルーシブ教育システム構築に向けた特別支援教育の推進 —学校・地域の取組に視点を当てて—

- ◇ 期 日 平成26年1月30日（木）・31日（金）
- ◇ 会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）
- ◇ 定 員 700名
- ◇ 主 催 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

国立特別支援教育総合研究所では、研究活動等の成果普及や質の向上、教育関係者や関係機関との情報共有を図るため、毎年、「国立特別支援教育総合研究所セミナー」を開催しております。学校教育法の一部改正により、平成19年度に特殊教育から特別支援教育に移行し、今年度で7年目を迎えます。この間、特別支援教育は、関係者のご尽力により、着実にそのねらいが達成されつつあるところです。

平成24年の中教審報告を受けて、平成25年9月には学校教育法施行令の一部改正が行われ、障害のある子供たちの新しい就学の仕組みが示され、実施に移されたところです。こうした動きの中で、本研究所では、新たに「インクルーシブ教育システム構築支援データベース」の作成にも取り組んでいます。

平成25年度の研究所セミナーでは、1日目に、文部科学省からの行政説明を予定し、最新の情報を参加者に提供していただくとともに、「インクルーシブ教育システム構築に向けた学校・地域の取組」と題して、基調講演やシンポジウムを行います。次いで2日目には、セッション2として、本研究所の中期特定研究の「特別支援教育におけるICTの活用に関する研究」に関して、その経過報告を行います。加えて、セッション3では、研究終了の課題について、分科会形式での成果報告を行う予定です。

特別支援教育は、多くの関係者の力を合わせて、一步步形作っていくものでもあります。本セミナーを通して、参加者から、本研究所の研究等に関するご意見やご要望を賜り、それらを特別支援教育の進展に役立てていければと考えています。

実り多い機会となりますよう、大勢の皆様のご参加を期待しております。

理事長 戸 和 成

日 程

<1日目> 平成26年1月30日（木）（カルチャー棟：大ホール）

	12:00	13:00	13:15	13:55	14:00		17:00
		受付	開 会 式	行政 説明	休 憩	セッション1：基調講演 シンポジウム	閉 会

<2日目> 平成26年1月31日（金）（カルチャー棟：大ホール、小ホール センター棟：417）

9:00	9:30		12:00	13:30		16:00
受付	セッション2： 研究・トピック紹介		昼食休憩 ポスター 発表 *	セッション3：研究成果報告 第1～第3分科会		散 会

* ポスターは、2日目の朝より掲示する予定です。

* ポスター発表等は、昼食休憩の時間の一部（12:00～13:20）を利用して行います。

■このご案内は本研究所のホームページ(<http://www.nise.go.jp/>)にも掲載しております。

プログラム 1日目 1月30日 13:00～17:00

【行政説明】 特別支援教育行政の現状と課題

13:15～13:55

特別支援教育の現状、学校教育法施行令の一部改正、平成26年度特別支援教育関係予算及び障害のある児童生徒の教材の充実について等、特別支援教育の充実についてご説明いただく予定です。

【講師】 大山 真未 氏 文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 課長

【セッション1】 基調講演・シンポジウム

14:00～17:00

インクルーシブ教育システム構築に向けた学校・地域の取組

基調講演では、インクルーシブ教育システム構築に向けて、学校として様々な資源をどのように活用し、連携を進めていくのか、サポート体制をどのように作り実践していくのか、子供の学校生活での情報を収集し、資源を見つけ、つないでいくことについて具体的にお話しいただきます。

それを受けて、シンポジウムでは、特別支援学校、中学校、教育委員会、保護者の各立場から、実際に進めている取組等について話題提供いただき、意見交換を通して、今後の学校・地域における取組の展開を探ります。

【基調講演】 (14:00～15:00)

司会 柘植 雅義 (独立行政法人国立特別支援教育総合研究所)
講演者 石隈 利紀 氏 (筑波大学副学長／附属学校教育局教育長)

【シンポジウム】 (15:15～17:00)

司会 柘植 雅義 (独立行政法人国立特別支援教育総合研究所)
シンポジスト 樋口 陽子 氏 (北九州市立小倉南特別支援学校主幹教諭)
本道利枝子 氏 (青森県八戸市立下長中学校教諭)
田中 裕一 氏 (兵庫県教育委員会事務局特別支援教育課指導主事)
内田 照雄 氏 (日本自閉症協会理事／神奈川県自閉症協会会長)
指定討論者 石隈 利紀 氏 (筑波大学副学長／附属学校教育局教育長)

2日目 1月31日 9:30～16:00

【セッション2】 研究・トピック紹介

9:30～12:00

ここでは本研究所が取り組んでいる現在の研究活動、及び事業や調査に関するトピックを紹介します。

前半は、平成24年度から開始した、特別支援教育におけるICT活用の課題に関わる3つの研究が、ほぼまとめの段階に入ったことから、この3課題について、これまでの研究活動から得られた成果を紹介します。

後半は、インクルーシブ教育システム構築支援データベース作成の経過と現状、及び平成24年12月に文部科学省が公表した調査結果について、文部科学省からの要請に基づき実施したフォローアップ調査の概要について紹介します。

司会 牧野 泰美 (独立行政法人国立特別支援教育総合研究所)

前半の部 (9:30～10:55)

【研究所の研究活動】 原田 公人 (独立行政法人国立特別支援教育総合研究所)

【研究経過報告】 中期特定研究「特別支援教育におけるICTの活用に関する研究」

・専門研究A「デジタル教科書・教材の試作を通じたガイドラインの検証」

金森 克浩 (独立行政法人国立特別支援教育総合研究所)

・専門研究B「特別支援学校(視覚障害)における教材・教具の活用及び情報の共有化に関する研究」

金子 健 (独立行政法人国立特別支援教育総合研究所)

・専門研究B「特別支援学校(肢体不自由)のAT・ICT活用の促進に関する研究」

長沼 俊夫 (独立行政法人国立特別支援教育総合研究所)

後半の部 (11:10～12:00)

【事業・調査報告】

・インクルーシブ教育システム構築支援データベース作成の経過と現状

藤本 裕人 (独立行政法人国立特別支援教育総合研究所)

・「通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する

調査結果について(平成24年12月文部科学省公表)」のフォローアップ調査から

伊藤 由美 (独立行政法人国立特別支援教育総合研究所)

本研究所の平成24年度終了研究課題の成果を、ポスター等により直接、所内研究担当者から説明します。また、各障害別教育分野のうち、今年度は、病弱・身体虚弱教育、言語障害教育、重複障害教育の各分野について、展示コーナーを設けて紹介します。発達障害教育情報センターの紹介コーナーも設けます。

[セッション3] 研究成果報告

13:30～16:00

**第1分科会 特別支援学校及び特別支援学級における教育課程の現状と課題
～課題の整理と今後の方向性を考える～**

本分科会では、「特別支援学校及び特別支援学級における教育課程編成とその実施に関する研究」についての報告をします。この研究では、特別支援学校における複数障害種に対応する教育課程編成、類型やコース制、交流及び共同学習、自立活動と他領域及び各教科の関連、高等部における職業教育について検討しました。また、特別支援学級における「特別的教育課程」の編成について、教育委員会調査、特別支援学級調査(3県)及び研究協力機関訪問により、現状と課題を明らかにしました。

研究で得られた知見と研究協力機関での実践を報告し、課題の確認と改善のための方策を研究協力機関の関係者やご参加の皆様とともに考えます。

司会 長沼 俊夫 (独立行政法人国立特別支援教育総合研究所)
研究報告 原田公人、柘植雅義、小林倫代 (独立行政法人国立特別支援教育総合研究所)
西村 美貴 氏 (青森県立八戸第一養護学校教諭)
北村 宏美 氏 (香川県立香川中部養護学校教諭)
山本 哲也 氏 (福井県福井市清水東小学校教諭)

**第2分科会 自閉症のある児童生徒の算数科・数学科の指導
～自閉症の特性を踏まえて～**

本分科会では、小学校及び中学校の自閉症・情緒障害特別支援学級に在籍する自閉症のある児童生徒の算数科・数学科の学習に関するアンケート調査の結果を報告します。また、自閉症・情緒障害特別支援学級での自閉症の特性を踏まえた算数科・数学科の実践について報告を行います。

これらを踏まえて、本分科会では、自閉症のある児童生徒に算数科・数学科の指導を行う際のポイントを整理し、自閉症の特性を踏まえた指導の在り方について、報告者やご参加の皆様と意見交換を行います。

司会 佐藤 肇 (独立行政法人国立特別支援教育総合研究所)
調査報告 岡本邦広、柳澤亜希子 (独立行政法人国立特別支援教育総合研究所)
実践報告 荒川 正敏 氏 (神奈川県横須賀市立船越小学校教諭)
藤田 直子 氏 (茨城県取手市立戸頭西小学校教諭)
深澤しのぶ 氏 (神奈川県伊勢原市立中沢中学校教頭)
指定討論 渡部 匡隆 氏 (横浜国立大学教授)

第3分科会 高等学校における特別支援教育の今、これからを語る

本分科会では、前半に「高等学校における発達障害等の特別な支援を必要とする生徒への指導・支援に関する研究」についての報告を行います。この研究では、研究協力機関での実践等を通して、発達障害等の特別な支援の必要な生徒への授業を中心とした指導・支援について検討しました。

また、後半には、研究で明らかになった「教育課程」における課題、多様化する生徒の実態に応じた指導・支援等を含め、高等学校の果たすべき役割や今後の在り方について、シンポジスト、さらにはご参加の皆様も含めたディスカッションを行います。

司会 梅田 真理 (独立行政法人国立特別支援教育総合研究所)
研究報告 笹森 洋樹 (独立行政法人国立特別支援教育総合研究所)
シンポジスト 濱野 清 氏 (国立教育政策研究所教育課程調査官)
高橋 基之 氏 (東京都立目黒高等学校校長／全国高等学校校長協会常務理事)
鈴木 龍也 氏 (福島県教育庁特別支援教育課指導主事)
吉田 美穂 氏 (神奈川県立田奈高等学校教諭)
笹森 洋樹 (独立行政法人国立特別支援教育総合研究所)
渥美 義賢 (独立行政法人国立特別支援教育総合研究所)

◇ 参加申込

(1) 申込要領

参加申込は、本研究所のホームページ(<http://www.nise.go.jp/>)において、直接お申込ください。なお、インターネット環境にない場合などはFAXでの申込も可能です。申込に当たっては、参加日、希望分科会（第2希望まで）、氏名（ふりがな）、所属・職名、連絡先電話番号をお知らせください。

また、本セミナーへの参加に当たり、手話通訳、車いす等特別な配慮を必要とする場合は、申込時にその旨をお知らせ願います。

参加申込を受付けましたら、後日メール等にてお知らせします。

(2) 申込期間

平成25年12月1日（日）～平成26年1月10日（金）

※ 12月1日以前の申込は、受付いたしませんのでご注意ください。

(3) 定員等

700名

※ 先着順で受付け、定員を超えて受付ける場合は小ホールでの映像視聴となります。

なお、参加に当たって、録音・撮影はできませんので、ご留意願います。

(4) 参加費

無料

(5) 宿泊・昼食

宿泊が必要な場合は、各自で手配してください。

また、昼食はセンター内の食堂等をご利用ください。

※ ホール内での飲食はできませんが、会場のロビーはご利用いただけます。

(6) 問い合わせ先

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

総務部総務企画課企画係

〒239-8585 神奈川県横須賀市野比5-1-1

電話 046-839-6808

FAX 046-839-6919

e-mail seminar@nise.go.jp



国立オリンピック記念青少年総合センター

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1

TEL (03) 3469-2525 (代表) FAX (03) 3469-2277

[交通案内]

■小田急線 参宮橋下車 徒歩約7分

■京王バス

新宿駅西口(16番) より 代々木5丁目下車

渋谷駅西口(14番) より 代々木5丁目下車

■地下鉄千代田線 代々木公園下車 [代々木公園方面4番出口]
(徒歩約10分)

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。